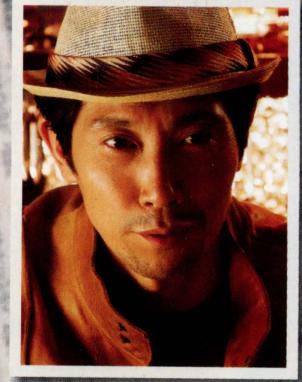


事件をつなぐ「穢れ」の正体とは? 真実の先に待つ、衝撃のラスト——。戦慄のリアルミステリー



竹内結子 as 「私」(小説家)

原作者を彷彿とさせる、小説家。半年前から怪談雑誌に連載を持ち、読者から募集した奇妙な体験談をもとに短編を発表している。久保さんの投稿で、奇妙な「音」の謎に迫る。夫・直人とともに、新居に引っ越し予定。



坂口健太郎 as 三澤徹夫(心霊マニア)

福岡県出身の会社員で、筋金入りの心霊マニア。謎のルーツが北九州にあるのではないかと知った「私」と久保さんが、手がかりを求めて相談をする。

佐々木蔵之介 as 平岡芳明(作家)

「私」の同業者。編集者との打合せ中に、「赤ん坊が床から湧いて出る」というエピソードに耳を留め、興味本位で調査に同行する。オンシャレで陽気なキャラクターがシリアスな物語の進行のアクセントとなっている。



滝藤賢一 as 直人(ミステリー小説家)

小説家「私」の夫であり、同業者でミステリーやホラーが専門の小説家だが「私」以上の心霊現象否定論者。「よかった、終の棲家が決まって。」と新築の新居への引っ越しを喜んでいただけが...

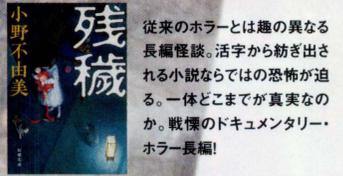


橋本愛 as 久保さん(大学生)

都内の大学で建築デザインを学ぶ女子大生。ミステリー研究会の部長を務める。郊外の街にある築10年、5階建ての賃貸マンション「岡谷マンション202号室」に住む。「今住んでいる部屋に、何かがあるような気がする」と怪談雑誌の連載を持つ「私」に手紙を投稿。

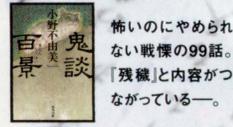


原作本



『残穢』小野不由美 著(新潮文庫刊) 590円(税別) カバー画:町田尚子 / 解説:中島晶也

関連本



『鬼談百景』小野不由美 著(角川文庫刊) 560円(税別) カバー画:山口晃 / 解説:福川淳二 映像化決定! 16年1月配信決定!

竹内結子 橋本愛
坂口健太郎 滝藤賢一 佐々木蔵之介
山下容莉枝 成田凌 吉澤健 不破万作 上田耕一
監督:中村義洋 原作:小野不由美『残穢』(新潮文庫刊)
脚本:鈴木謙一 音楽:安川午朗
製作総指揮:藤岡修 製作:松井智 高橋敏弘 阿南雅浩 宮本直人 武田邦裕
企画・プロデュース:永田芳弘 プロデューサー:池田史朗
ラインプロデューサー:奥谷恭史 協力プロデューサー:古賀俊輔 アソシエイトプロデューサー:畑田伸也 落合香里
撮影:中村志宏 照明:岡田佳樹 録音:西山徹 美術:丸尾知行 装飾:迎藤善人 運送進一郎 キャスティング:星久美子
衣裳:丸山佳奈 ヘアメイク:山内聖子 佐々木博美 特殊メイク:造型:江川悦子 神田文裕 婦人図制作:東學 スクリプター:小林加留
編集:森下博昭 VFXプロデューサー:赤羽智史 音響効果:西村洋一 潤滑:佐藤啓 助監督:片桐健滋 制作担当:曾根喜
製作:『残穢-住んではいけない部屋-』製作委員会(ハビネット 松竹 エイベックス・ミュージック・パブリッシング GYAO ソニーPCL)
企画・製作幹事:ハビネット 配給:共同幹事:松竹 企画協力:新潮社 制作プロダクション:ザファール ©2016『残穢-住んではいけない部屋-』製作委員会
zang-c.jp facebook.com/zange.movie @zange_movie #ざんえ

2016年1月30日(土)
全国ロードショー



奇妙な「音」の謎は、
その部屋の「過去」につながる...

残穢

— 住んではいけない部屋 —

1.30 土
2016 全国公開

竹内結子 橋本愛
坂口健太郎 滝藤賢一 佐々木蔵之介
山下容莉枝 成田凌 吉澤健 不破万作 上田耕一
監督:中村義洋『白ゆき姫殺人事件』『予告犯』 原作:小野不由美『残穢』(新潮文庫刊)
脚本:鈴木謙一 音楽:安川午朗
製作:『残穢-住んではいけない部屋-』製作委員会
企画・製作幹事:ハビネット 配給:共同幹事:松竹 企画協力:新潮社 制作プロダクション:ザファール
©2016『残穢-住んではいけない部屋-』製作委員会



「十二国記」シリーズ
「屍鬼」

「白ゆき姫殺人事件」
「予告犯」

小野不由美×中村義洋 奇跡の〈初〉映画化!

「手に本を置いておくことすら怖い」——第26回山本周五郎賞受賞の際、選考会でそんな感想が漏れたという小野不由美の傑作小説『残穢』。「十二国記」シリーズ、『屍鬼』など熱狂的ファンをもつベストセラー作家の小野が、「一生で一度しか使えないアイデア」を用いたというこの小説が、満を持して映画化される。小野作品の映画化はこれが初めて。監督には、近年『白ゆき姫殺人事件』『予告犯』などのヒット作が記憶に新しいミステリーの名手=中村義洋。大ヒットOVA『ほんとにあった! 呪いのビデオ』や『絶対恐怖Booth ブース』などの恐怖演出でも知られる。小野が、それらの作品の熱狂的ファンだったことで奇跡の映画化が叶った。

小野自身を彷彿とさせる主人公「私」には、人気実力派女優=竹内結子。想像を絶する謎に挑む知的な役どころを、圧倒的な存在感で演じる。「私」の相棒となり、共に事件の真相を探る女子大生・久保さんには、神秘的な魅力を持つ女優=橋本愛。好奇心と恐怖の狭間で揺れる様子をリアリティたっぷりに演じきる。初共演となる2人が、人間の業が渦巻く息詰まる物語を動かしてゆく。他に、「私」と同業の作家仲間=平岡に佐々木蔵之介、筋金入りの心霊マニア=三澤に坂口健太郎、「私」の夫でミステリー小説家の直人に滝藤賢一と、個性あふれる豪華な面々が集結した。

雑誌「閻」



心霊マニア
三澤徹夫



「私」の担当編集者
田村



平岡の担当編集者
河田



作家
平岡芳明



小説家
「私」



ミステリー小説家
直人
夫婦



小説家
「私」

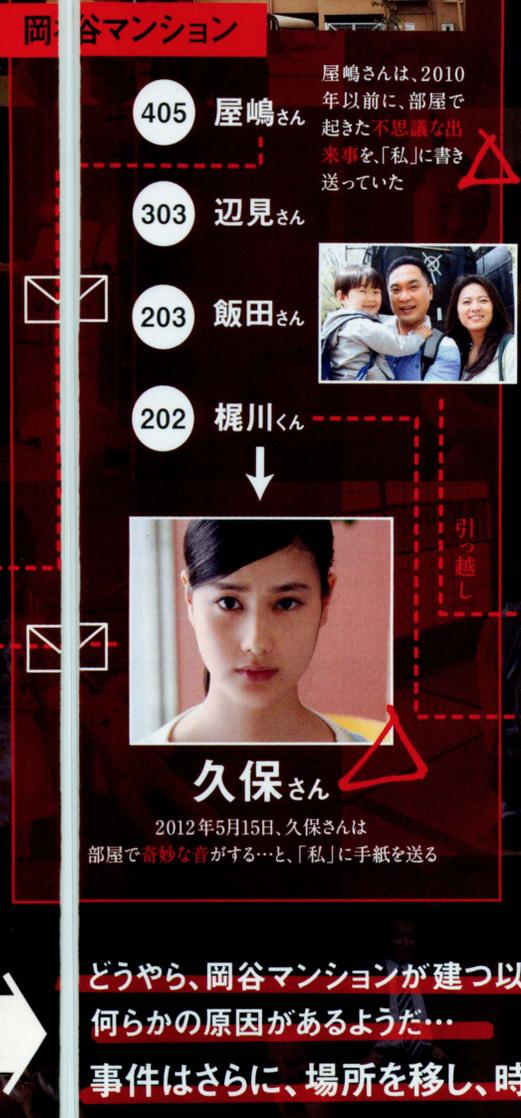
「私」は、久保さんや平岡・三澤たちとともに、マンション周辺の聞き込み調査に乗り出す

過去に、妙な噂、事件、ポヤ騒ぎ、不審死などがあったことがわかる

その部屋の「過去」に何が?

触れてはいけない驚愕の真実が、あなたを待ち受ける——。

事件と人物の 相関図



屋嶋さんは、2010年以前に、部屋で起きた不思議な出来事を、「私」に書き送っていた



202 梶川くん



久保さん

2012年5月15日、久保さんは部屋で奇妙な音がする…と、「私」に手紙を送る

誰が、なぜ、事件を引き起こしたのか。聞いてしまった奇妙な「音」は、連鎖する不可思議な事件への招待状だった——。

小説家である「私」(竹内結子)のもとに、女子大生の久保さん(橋本愛)という読者から、一通の手紙が届く。「今住んでいる部屋で、奇妙な“音”がするんです」好奇心を抑えられず、調査を開始する「私」と久保さん。すると、そのマンションの過去の住人たちが、引っ越し先で、自殺や心中、殺人など、数々の事件を引き起こしていた事実が浮かび上がる。彼らはなぜ、“音”のするその「部屋」ではなく、別々の「場所」で、不幸な末路をたどったのか。「私」と久保さんは、作家の平岡芳明(佐々木蔵之介)、心霊マニアの青年・三澤徹夫(坂口健太郎)、そして「私」の夫・直人(滝藤賢一)らの協力を得て、ついに数十年の時を経た、壮大なる戦慄の真相に辿り着く。だがそれは、新たなる事件の序章に過ぎなかった——。すべての事件をつなぐ【穢れ】の正体とは? 予定調和を許さない驚愕のラストまで、目が離せない。

ここに、いまだかつて見たことのない、戦慄のリアルミステリーが誕生する。

飯田家
引っ越し先で一家心中

引っ越し

伊藤さんのアパート



大家の伊藤さん
梶川が亡くなる夜、妙な気配を感じていた



梶川くん
2012年5月19日に自殺



山本くん
梶川亡き後、同じ部屋に住むが…

